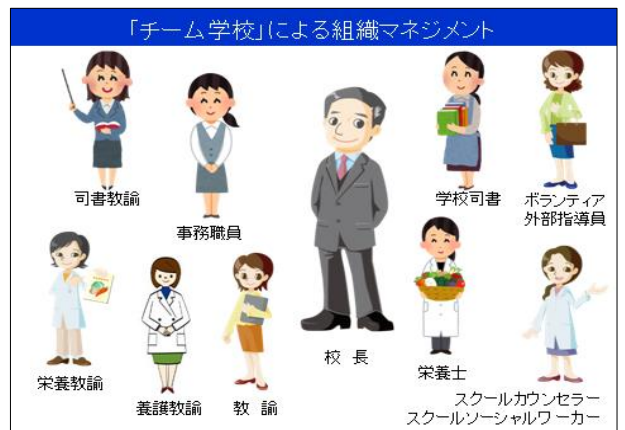
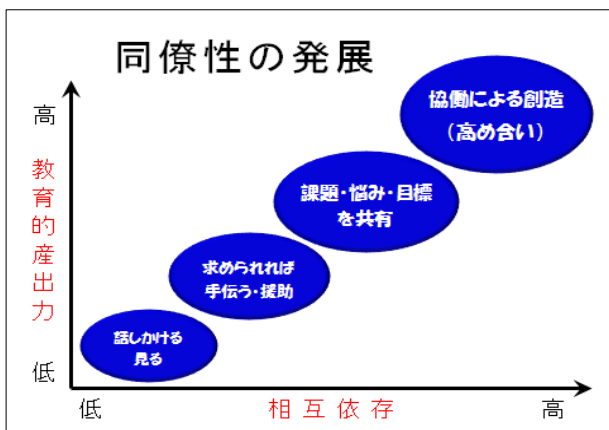
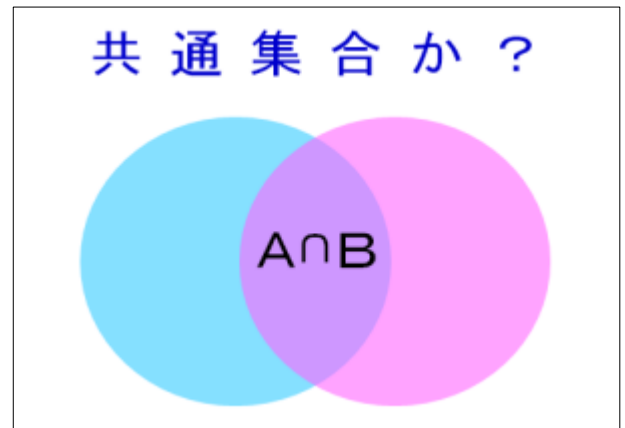
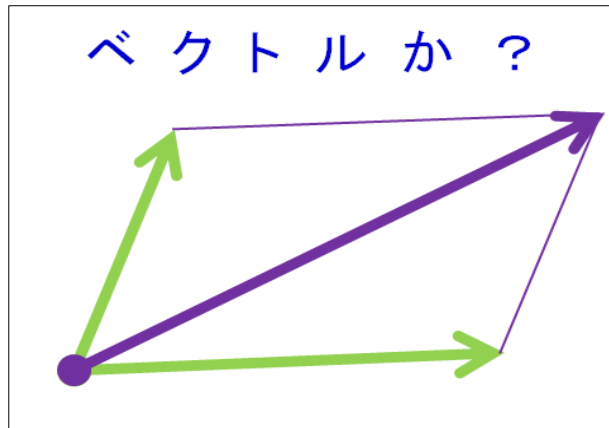


「以和為貴」～同僚性とは～



「以和為貴」とは ＝ 単に仲良くしなさいではなく、和（なごむ）の環境を作って、納得いくまで議論しなさい、という意味です。 ＝ 人は誰でも好き嫌いがあり、それにより仲間を作ってしまう、また、全てのことを理解している達人は、殆どいない。 だから、君主や親に従わなかったり、他人と主張や考えが違ったりする。しかし、上の者が、心を柔らかかにもち、また、下の者が、感情を細やかにもって、お互いが、やわらいだ気持ちで接すれば、さまざまなことを議論する時に、うまく調和するであろう。 ＝ また、物事を1人で決めてはいけない。人は意見が違って当然。だから、意見が通らないと、人はその人のことを「愚人」だと言い、自分のことを「聖人」だと思うが、互いに「凡人」に過ぎない。・・・ 十七条の憲法 第一条 聖徳太子